

# WINDOW

## 高知県外国人生活相談センター開所式



2019  
**Autumn**  
No.71

- 高知県外国人生活相談センター開所
  - 高知県在住外国人へのインタビュー
- 当協会実施事業の紹介
  - 異文化理解講座 アフリカ編 & 南米編
  - 親子で学ぶ国際理解講座 エジプト/ネパール編、フランス編
  - 日本語ボランティア養成スキルアップ講座 in 土佐市
- 南米から研修員が来ました!!
- 国際交流団体の活動報告(I.Y.S.高知)
- INFORMATION BOARD
  - 高知県国際交流員退任
  - 高知県国際交流員赴任
  - 南米の料理 レシピ紹介



高知日本語サロン  
土佐支部の様子



# 令和元年5月31日、「高知県外国人生活相談センター」開設!!!

## 多文化共生〈ダイバーシティ〉社会に向けて!

日本で生活する外国人は近年増加傾向にあり、働く外国人が増加してはいるものの、中小・小規模事業者では人手不足が深刻化しています。同様に、高知県内でも、農業、介護、建設業などの多くの分野で人材確保が難しくなっています。このように、不足する人材確保を目的として、外国人材の受入れを拡大するための法律が今年4月施行され、今後、高知県でも働く外国人の増加が見込まれます。

## 高知県外国人生活相談センターって どういうところ?!

当センターでは、外国人が安心して地域で生活できるように、在留資格・医療・福祉・労働・子育て・教育などの生活に関わる様々な事柄について、外国人や事業所等からの相談を受け、適切な情報や専門対応機関に迅速にたどり着けるよう、情報提供および相談を行っております。



〒780-8070  
高知県高知市本町4丁目1番37号丸の内ビル1階  
TEL:088-821-6440 FAX:088-821-6441  
Website:<http://kccfr.jp>

## どういう言語で対応してくれますか?

センターには3名の相談員がおり、英語・スペイン語・中国語は直接対応できます。その他の言語については、17言語対応<sup>(※1)</sup>の電話通訳サービスや74言語<sup>(※2)</sup>に対応する携帯型音声翻訳機などを活用して、多言語の相談に対応できる体制を整えています。

※1 英語、中国語、韓国語、タイ語、ベトナム語、インドネシア語、マレー語、タガログ語、ネパール語、ミャンマー語、クメール語、ポルトガル語、スペイン語、フランス語、ドイツ語、イタリア語、ロシア語(17言語)

※2 74言語については、Websiteにてご確認ください。



片山 順子

私は、自分の故郷でもある高知が大好きです。この相談センターは日本語ができなくても大丈夫です。知りたいことや心配なことがあれば相談してください。外国の方々にも「高知は良いところだ!」と思ってもらえるよう頑張ります。



澤 恭子

ニーハオ!高知に住んでいる外国人が、気軽に相談できるセンターにしていきたいです。言葉が通じなくて困っている方にも、ルールやシステムが分からなくて困っている方にも、丁寧に分かりやすい情報提供を心掛けて頑張ります。

## 相談員よりあいさつ



センター長  
中嶋 真哉

外国の方が、より快適に、より安心して高知で暮らし、また長期にわたって地域と共生していける社会づくりの一翼を担えるよう全力で取り組んでまいります。



# 高知県在住外国人へインタビュー

高知県には、中国1,184人、フィリピン713人、ベトナム702人、韓国534人、インドネシア303人、その他を含めた総数4,371人(2019年6月現在)の外国人が住んでいます。今回は、高知県外国人生活相談センターの開設にあわせ、高知県に住んでいる外国人(中国、フィリピン、ミャンマー)の3名に、来日するきっかけとなった背景から高知県での生活などをインタビューしました。

## 武智純子さん 中国遼寧省出身(現在は日本国籍)、高知市役所福祉管理課中国残留邦人等生活支援相談員



武智さんが高知へ来たのは28歳の時。中国残留孤児であった母親(高知出身中国語話者)は下の子2人を連れて3年前に高知入りしていた。当初、新婚で4歳の男の子がいた彼女は、実母の国際電話での誘いに日本へ行こうかどうか迷っていた。3年のあいだ、電話の後は毎回泣いた。最終的に、それを見ていた息子の後押しもあり、裕福な暮らしができた地方公務員の仕事を夫婦で辞め、初めての海外＝高知県へ来ることを決意した。

～辞書にない言葉(土佐弁)にくじけそうになったが、辞書がお守りになるまで～

彼女は、来高してすぐ、息子を保育園に連れていき、自分自身は日本語を学ぶために自立支援センター(4か月間)へ通い始めた。保育園からのお便りや連絡帳などすべての日本語が分からず、「ありがとう」の一つも言えなかった。悔しく情けない日々を過ごした。ある日、遠足のお便りをもらい「小雨決行」という文字を見た。漢字は得意と自負していた彼女。

遠足当日、少し雨が降っていたため、子供を普段通りの格好で保育園に連れて行った。日本人の皆さんなら、なぜ遠足の準備をしないの?と思うところだが、中国語の「決行」=行かないという意味である。また、もう一つ事件が起きた。それは、7歳の息子が迷子になったのである。電話の向こうから日本語を話す声。すべては理解できないが、たった二つの単語が聞き取れた。「はりまや」「あかとんぼ」。あてもなく自転車をこぎながら、その単語を忘れないように何度も何度も声に出した。このような経験をきっかけに「自分の子供を守るためにもっともっと日本語を勉強しよう!と心に誓った」という。

来高して12年目に日本語能力試験1級に合格した。だが、「日本人並みの日本語を話したい」と日本語学習意欲は非常に高い。職場の元同僚は28年かけて親友になり、毎月お互いの近況を報告しあっている。ただいま仕事を持つ傍らで、夜は高知北高校定時制に通い生徒会活動も忙しい。来年3月に卒業予定だが、次の目標は大学進学という。これからの活躍も楽しみだ。

## 宇佐クリスティーナさん フィリピンマニラ出身、ホテル業



結婚を機に高知県に住むことになって25年が経つ。当初は、日本語が話せず仕事でもローマ字で日本語を理解していた。もともと英語ができたので、高知での生活や仕事に関しては大きな問題もなく過ごすことができた。でも、家庭内では夫に日本語で伝えたいことが伝わらなかったことがあり、夫のすすめで県立大学の日本語クラスを受講した。また、夫から「日本語を覚えるためには、日本語以外の言葉は話してはダメ」ということを言われ、小学校低学年の教材と一緒に勉強をした。厳しいようだけど、買い物を含めた外出はなんでも一人でさせてくれ、「分からなかったら誰かに聞く」ということを教えられた。が、やはり地域の活動(例えば、回覧板、

ごみ出し、夏のラジオ体操、草刈りの日など)は、ご近所同士の付き合いが築けてなかったのが理解するのにとても苦労した。

現在は、KIAで行っている日本語サロンの漢字クラスに通っている。日本語の勉強も25年目になる。夫からは「いつ卒業するの?」と聞かれるが、「日本語の勉強はただ楽しいだけじゃなく、少しずつうまくなっている自分も感じている。」「今の仕事では、英語も使う場面があり、日本語と英語を使える自分にまだまだいける!と感じる」と目を輝かせて話す。趣味は、ロッククライミングとマラソン。「なんでも負けたくない。でも、ダメなら諦めて次に行く!今の目標は、夫と共に龍馬マラソンで完走すること。」話し方は控えめながら、その挑戦する姿はとてたくましく感じた。

## ソウ ティハさん ミャンマー出身、技能実習生(自動車整備)



技能実習生として日本へやってくるまで、面接のあと仲介業者に2800ドルを支払い、1年待った。それは短いほうである。知り合いには3年間待った人もいた。

16歳で高校を卒業して以降、自動車修理技術者として働き、日本へ行くことなど想像したこともなかった。きっかけは、友達が日本で働くために面接を受けたという知らせだった。それ

を聞いて世界が広がった。

～よし、僕も日本へ行こう!～

当時、自動車修理工を2年間経営していた彼は、日本の営業、サービス、経営などすべてのことを学びたいと思った。初めての日本語でも一生懸命勉強すると誓った。今ではなんでも教えてくれる同僚もでき、仕事でわからないことや日本の生活に関して疑問に思ったことを日本語で相談できるようになった。

高知県(日本)へ来るきっかけは人それぞれ様々ですが、「日本語をなんとか上手に話したい」「日本文化を理解したい」「日本語を習得して自分の夢をかなえたい」という在留外国人の声を聞くことができました。このインタビューで、私たちの周りの外国人にとっても日本は異文化であること、またお互いを知ることの大切さを学びました。

# 異文化理解講座

## 1 アフリカの今を知る in オーテピア

6月22日、当協会とJICA四国センター主催で「アフリカの今を知る—文化やスポーツを通じてつながる—」を開催し、立ち見が出るほど多くの参加者（約130名）がありました。当協会の異文化理解講座の枠で、高知で活躍するブルキナファソ出身の二人、JICA研修員ネトヌ・サンバ氏「農業専門家として生きる」、高知ファイティングドッグスのサンホ・ラシナ選手と青年海外協力隊として野球指導をした経験を持つ安河内聖氏が高知へ来るきっかけとなった経緯をご講演頂きました。



## 2 AMIGOキッチン in 黒潮町 「南米をつくらう・食べよう・知りつくそう!」

7月29日、黒潮町保健福祉センターにて、高知県海外技術研修員でブラジル出身の森岡千恵蔵フェルナンド氏、パラグアイ出身の山本荒川ホアキン和也と田辺寺林サマラ涼子氏を講師に招き、それぞれの国の料理を通して南米文化を体験するとともに、交流会で日系社会や移民についてのお話を聞きました。今回作ったブラジル料理のフェイジョアダ（赤インゲン豆と肉のスープ）は、300年前の奴隷制でアフリカから連れられてこられた人々が食べていた料理であり、日本から移民した日系人の中でもよく食べられていたと説明を受け、日系人が移住先で苦しい思いをしながらも成功するという強い思いを忘れずに生活していたことを教わることができました。



フェイジョアダのレシピを最後のページで紹介しています♪



国の紹介もしました



# 親子で学ぶ国際理解講座

8月6日（エジプト&ネパール編）と8日（フランス編）では、高知工科大学の留学生ムスタファ・シェフェン氏（エジプト出身）、パンカジ・コイララ氏（ネパール出身）、須崎市国際交流員のヴィダル・ジェニファー氏（フランス出身）に講師に来てもらいました。親子で参加してくださった55名の皆様が、講師の国々の料理を通して食文化や今日の料理にまつわるお話を聞くことができました。その中でも印象的だったのは、フランス料理のグラタン・ドフィノアで「ジャガイモを牛乳で茹で、その茹でた牛乳は捨てる」ということでした。乳製品が豊富な国ならではの調理方法に皆驚きを隠せませんでした。今回作った料理は、エジプト料理シオルバアッダス（レンズ豆のスープ）、ネパール料理モモ（ネパール餃子）、フランス料理グラタン・ドフィノア（ジャガイモのグラタン）とガトー・マールブレ（マールブレケーキ）。



レンズ豆のスープ



# 地域でつながる・みんなとつながる 日本語を学ぼう in 土佐市

2019年2月から土佐市高岡にて「高知日本語サロン土佐支部」が始動し、日本語教室がスタートしました!水曜日の夜と、日曜日に活動しています。

勉強内容は会話・漢字読み書きなどさまざま。ときには、七夕の笹飾りを作ったり、よさこいを踊ってみたり、日本や高知の文化を体験する場にもなっています。

## 学習者の声



Anhさん  
(ベトナム出身)

先生たちがすごくやさしいし、皆熱心で、一番幸せな所です。この教室開いてよかった!前はあまりしませんでしたけど教室が開いてから勉強しています。N3試験に合格しました!

日本語のクラスは楽しい!  
毎週日本語を理解してもっと使えるようになった。



Rebeccaさん  
(アメリカ出身)

## ボランティアの声



井上さん  
(土佐市在住)

自身が学習者のニーズに添えているか疑問になることもあるが、生活の中で役に立つ存在になりたいと、教室内外でも交流の輪を広げていきたい。

土佐市には技能実習生が多く、忙しい仕事の合間に日本語を学びに来る。そのひた向きな眼差しには感動すら覚える。学習者が孤立を感じないよう、学びを超えた繋がりを大事にしたい。



植田さん  
(土佐市在住)



## 8/4 日本語ボランティアスキルアップ研修会 「学習者の発音にどう対処するか」

講師：築地 伸美 (愛媛大学非常勤講師・えひめJASL会員)

土佐市の日本語教室で活動をはじめた日本語ボランティアを中心に、日本語の「発音」をテーマに研修を行いました。

参加者からは「学習者と一緒に日本語を学習していくスタンスでやっていこうと思った」「学習者の文法力や単語力を上げ、より日本語らしいイントネーションに注意するようにしたい」などの感想があり、築地講師からは、「少々不自然な発音の外国人がいても、無理に発音だけを矯正するのではなく、それを地域で受け入れようと伝える役割になってほしい」というメッセージがありました。



## ベトナム料理・防災学習交流会

土佐市の日本語教室に来ている学習者を交えて交流会。バインセオ(米粉とココナッツミルクで生地を作るベトナム風クレープ)を手慣れた様子で焼いてくれる学習者も、「実は初めて作ります!」という方もいました。表面をパリッと焼くことが少し難しかったので、また是非本場の味にチャレンジしてみましょう!



美味しく食べた後は、防災について学ぶ機会になりました。土佐市役所の職員や、日本語ボランティアの方が講師になって、地震が起こったときどうする?!と体験してみたり、土佐市のハザードマップを見て、自分の家の近所の高台や避難所はどこかをやさしい日本語で説明し、避難に必要なものなどを話しました。



日本語教室が、地域住民との交流の場、外国人にとって生活に必要なことを学べる場になるように、KIAも一緒にサポートをしていきたいと思えます!

## 日本語ボランティアを募集しています!

土佐市の教室でボランティアをしてみませんか?外国語ができる必要はありません。双方の学びあいの場です!今年度は須崎市で養成講座を行います。ご興味がある方は是非参加ください。

令和元年度日本語ボランティア養成講座 in 須崎市

日程 10月5日(土)/19日(土)/26日(土)

11月9日(土)/10日(日) \*原則全日程参加

場所 須崎市立多ノ郷公民館(須崎市大間本町15-22)

講師 高知日本語サロン 池純子、尾中美代子 他

\*詳細は当協会HPをご覧ください。

# 海外から研修員が高知県にやってきました!

高知県国際交流協会(KIA)では、高知県からの委託を受け、研修員を受け入れています。

今年も、南米の高知県人会から3名が高知県にやってきました。研修員は来年3月上旬まで、高知県の各企業でそれぞれの専門分野に応じた研修を受けます。8月にはよさこい祭りに踊り子として参加し、多数の県民の皆さまと交流する機会を持ちました。研修員にとっては自分の祖先のルーツがある高知県の文化を知ることができ、とても良い経験になっているようです。学校や民間国際交流団体等、県民の皆さまとの文化交流の機会がありましたら、ぜひKIAまでご連絡ください。



- ① 高知の印象
- ② 趣味
- ③ 研修員からひとこと



県内学校での出前講座や国際交流イベントでの講師などもします。みなさん見かけたら声をかけて下さいね!

## 森岡千恵蔵フェルナンド

(ブラジル出身、日系三世、高知県土佐市北原出身)

研修先: ㈱タナカシヨク

研修内容: 食品加工



- ① 高知の人が好きです。なぜなら、祖父母の故郷であり、高知の人々に受け入れられていると感じるからです。高知は、僕にとっていろいろなものへの学びのドアを開いてくれた場所です。食べ物もおいしいです。
- ② ブラジルでもやっていた野球やソフトバレーです。高知でもスポーツと一緒にしたいです。
- ③ 高知は素敵な場所です。自分の家に帰ってきたような心地良い気持ちでいます。僕は高知へ来られたことを高知の人々に感謝しています。どうぞよろしくお願いします。

## 山本荒川ホアキン和也

(パラグアイ出身、日系三世、高知県南国市篠原出身)

研修先:

高知県農業技術センター

研修内容: 土壌管理



- ① 高知の良いところは、人々がとてもフレンドリーであること、自然が豊富であること、そして高知城です!!
- ② バレーボール、ドライブ、友達と飲むこと。
- ③ はじめまして、パラグアイから来ました。二年前から父の農業(大豆等)を手伝っています。研修先で、土壌が食物に与える影響、食物への成長と成分の関係性、食物への線虫の感染の仕組み等をこの研修を通して勉強し、そこで得た知識を活かしより土壌とうまく付き合いたいです。

## 田辺寺林サマラ涼子

(パラグアイ出身、日系三世、高知県四万十町大正出身)

研修先: 国際デザイン・

ビューティカレッジ

研修内容: グラフィックデザイン



- ① パラグアイで高知のことを「とても美しい場所」と聞いていたけど、本当に素晴らしい場所だと思います。町全体がきちんと整理されており清潔で安全な場所だと思います。
- ② 少女漫画やアニメを見るのが好きで、住宅や大きな建築物の鑑賞も好きです。ときどき絵も描いています。
- ③ 高知の皆さん、こんにちは、初めまして! 私は高知に来ることができてとてもうれしいです。新しい町に住み、新しい人々に会い、異なる文化を学んでいます。私の初めての経験です。高知についてもっと知りたいです!



高知県にルーツのある海外技術研修員と交流をしてみませんか!!

学校や非営利団体等において、県民の皆様との文化交流の機会を探している方は、ぜひ高知県国際交流協会までご連絡ください。



# 「海の向こうの高知に行ってきたぞね」

— I.Y.S.(Inspire Youth Shikoku)高知

代表 越智 航 (高知大学土佐さきがけプログラム国際人材コース)

「高知の若い人に、パラグアイについて知ってほしい。とにかく、まず、来てみて欲しい。」JICA四国の海外研修でパラグアイを訪問した先生を通じて、高知県人会の方からの熱いメッセージを受け取り、私は即座に南米行きを決断し、現地の高知県人会に連絡を取って準備し始めました。

現地では、高知県人会の方たちが、充実した研修プログラムを用意して下さっており、5つの移住地と首都アスンシオンに、通算約2ヶ月滞在しました。どの移住地に行っても、「ようきたねー。」の大歓迎の中、農場見学や、ホームステイをさせてもらいました。ドローンや無人飛行機での種まきや農薬散布、AIによる農場管理などの目を見張るような大規模農業が行われていました。年配の方からは、木々が覆い茂ったジャングルを手作業で切り拓いて、この地に適した大豆の生産に成功するまでの苦労話を伺いました。私の父と同じ、旧吾川村(現：仁淀川町)出身のある方は、「『金のなる木』がある」と聞いて、そんなことはないだろうと思いつつも、大きな夢を持って数年のつもりで、家族と移住したそうです。「食べるものに困るような大変な日々もあったが、キャッサバ芋が、一年を通して収穫できるから飢え死にすることはないだろうと家族みんなで力を合わせてがんばり、今では東京ドーム何個分もの畑を所有するに至りました。」とおっしゃっていました。また、同年代の若者とは、野球やサッカーをしたり、おいしいアサード(焼肉)を食べたりしながら、夜更けまで語り合いました。都市部在住の三世、四世には、

あまり日本語が話せない人も増えていて、日系人としてのアイデンティティをどう保っていくのか、世代間で意識が大きく違うことも多く、悩むこともあると聞きました。「日本人として外国に暮らす」ことについて改めて考えさせられました。

イグアスの滝とその水力発電所の見学では、自国の電気供給のみならず、ブラジルに売電していると聞き、その規模に圧倒されました。滞在中、パラグアイの、人的・物的資源の豊富さを目の当たりにし、今後の経済発展の可能性を感じ、高知との共存繁栄を模索できないかと思いました。

例えば、介護の分野での提携などです。日系でも高齢化は進んでいました。高齢化が進んでいる高知は、お年寄りが幸せに暮らせるノウハウがたくさんあります。パラグアイの日系の方たちにそのノウハウを学んでもらうために来日してもらえば、高知はその間、日本語や日本人の考え方を理解できる働き手を確保できます。互いにとってメリットは大きいと思います。ほかにも、鉱物資源などを共同で活用することなども考えられると思います。パラグアイの県人会を軸にしてタッグを組めば、双方の発展に繋がると思います。

本会では、今年度も若者のパラグアイ研修を行いたいと考えています。興味がある方は、ぜひご連絡ください。

最後になりましたが、高知県国際交流協会、パラグアイ高知県人会(日本人会)の皆さんのご協力に感謝いたします。Gracias!



ホームステイ先の安藤さん家



近代農業が進んでいるパラグアイ



ラバス日本人学校で

# INFORMATION BOARD

## 退任あいさつ

ナオミ・ロング

あっという間の高知での4年間。高知県庁での国際交流員として過ごしてきた日々もそろそろ終わります。この土地を離れたら、緑豊かな山の風景・色鮮やかでアツイよさこい踊り・数えられない柑橘類の種類・美しい夕日・清流の河川がきっと恋しくなるでしょう。国際交流員として高知の産業・観光・国際交流活動など、多方面から高知を体験することができました。また、出会った人達を通して、高知だけではなく、他の国の文化についても知ることができ、意外と国際的な経験でした！中でも、特に職場やJET\*コミュニティなどでは素晴らしい人々に恵まれ、その人達のおかげで高知での時間が非常に貴重なものとなりました。本当にお世話になりました。Thank you!

\*JETプログラムとは、語学指導等を行う外国青年招致事業(The Japan Exchange and Teaching Programme)の略で、外国青年を招致して地方自治体等で任用し、外国語教育の充実と地域の国際交流の推進を図る事業です。

2018年土佐弁ミュージカル▶  
「土佐デレラ」に出演しました



よさこい！シンガポール、韓国、中国の高知県国際交流員と一緒に！



## 着任あいさつ

ミンダ・デットマン

はじめまして！私はアメリカのアリゾナ州出身のミンダ・デットマンと申します。昨年8月から1年間、室戸市役所で国際交流員として勤務していました。小学校から中学校の約4年間、両親の仕事の関係で鳥根県と兵庫県(神戸)に住んでいたこともあり、そこで日本語を習いました。趣味は編み物、読書、自然散策などです。室戸市では和太鼓のグループにも入っていました。皆様とお話できる日を楽しみにしております。これからよろしくお願いたします。



## レシピ



## Feijoada (豆と肉の煮込み料理)

### 材料 (6人分)

※お米5合を炊いてください

サラダ油……………大さじ2  
にんにく(みじんぎり)……………2片  
たまねぎ(みじん切り)……………3/4個  
ピーマン(みじん切り)……………3個  
豚バラブロック(1cm角程度)……150g  
レッドキドニー水煮……………約600g(6缶)  
塩……………小さじ1.5  
こしょう(お好みで)  
ローリエ……………1~2枚  
ウインナー(一口大に切る)……………6本  
ベーコン(一口大に切る)……………6枚分くらい  
パセリ(お好みで)

### 作り方

1. 鍋に油を引き1cm角程度に切ったウインナーと豚バラブロックとベーコンを入れて炒める。
2. レッドキドニーをすべて入れて(3缶だけ豆を潰して入れる)しばらく混ぜる。
3. ローリエ、2カップの水、塩を入れて弱~中火で煮込む。アクをとる。
4. フライパンに油をひいてニンニクと玉ねぎ(みじん切り)を加えて炒める。
5. ピーマン(みじん切り)と塩を加えて炒める。
6. パセリを加える。
7. 4~6で炒めたものを鍋に加えてさらに煮込む。
8. 沸騰したら水を1カップ程度加えてさらに煮込む。
9. とろんとしてきたら出来上がり。

